新しい競技会のあり方（指針）

≪新型コロナウイルスにうつらない・うつさない≫

改訂2022年10月31日(一社)岐阜県水泳連盟　競技運営委員会

１．競技会における対策

　　　　　１）有観客とする。ただし、同一時間帯において会場へ入場できる人数を制限する（詳細は各大会２次要項を参照）。

　　　　　２）原則、県内登録選手のみとする。

　　　　　３）クラスター（集団）感染発生のリスクを回避する。

　　　　　　　①　扉を開けて定期的に外気を取り入れる換気を実施する。

　　　　　　　②　手の届く距離に多くの人が集まらないように、配席の間隔を広くする。

　　　　　　　③　更衣室の密集を避けるため、素早く着替えて更衣室利用時間を短縮する。

　　　　　　　④　声援など大きな発声をしない。させない。

　　　　　　　⑤　笛の使用を禁止する。

　　　　　４）会場入場時には、石鹸や消毒液による手指消毒を頻繁に実施する。

　　　　　５）マスクを着用する。

　　　　　　　①　選手は、アリーナ以外の待機場所等では『マスク着用』を原則とする。

　　　　　　　②　競技役員は、アリーナ内であっても常時着用する。

　　　　　　　③　声を出す機会をできるだけ減らすよう努める。

２．選手の皆様へ（大会までの１週間において）

　　　　　１）次の一つでも該当する場合は、競技会参加を自粛してください。

　　　　　　　①　平熱を超える発熱（３７．５度以上）

　　　　　　　②　咳（せき）、喉の痛みなどの風邪の症状　…花粉症は除く

　　　　　　　③　だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

　　　　　　　④　嗅覚や味覚の異常

　　　　　　　⑤　身体が重たく感じる、疲れやすい等の症状

　　　　　　　⑥　感染が疑われる者と接触した。

　　　　　　　⑦　過去７日以内に、入国制限がある国・地域に渡航した。

　　　　　　　⑧　過去７日以内に、帰国後観察が必要な国・地域に渡航した。

　　　　　　　⑨　保健所より、大会開催日の７日以内に濃厚接触者と判断された。（＊）

　　　　　　　⑩　保健所より、大会開催日の７日以内に陽性者と判断された。（＊）

　　　　　　　　　＊厚生労働省からの新型コロナウィルス感染に関するＱ＆Ａ参照

　　　　　２）指定場所で「静か」に待機する。

　　　　　　　①　待機場所以外でも、手が届く距離に集まらない。

　　　　　　　②　３人以上で集まらない。

　　　　　　　③　間近で会話をしない。大声を出さない。

３．参加団体様へ

　　　　　１）　参加選手の体調管理を十分に行ってください。　＊検温を必ず行ってください。

　　　　　２）　【正しい手の洗い方】を指導してください。

　　　　　３）　競技会場では、『３つの密』を絶対に避けるように指示をしてください。

　　　　　　　①　【密閉空間】…　換気の悪い場所に行かない。

　　　　　　　②　【密集場所】…　他人と手の届く距離に集まらない。

　　　　　　　③　【密接場面】…　間近での会話や大声をださない。

４．競技役員の皆様へ（感染防止策チェックリストを実践してください）

　　　　　１）　競技会７日前から検温を行ってください。３７．５度以上の発熱があった場合、競技役員はできません。連盟事務所もしくは競技運営委員長までご連絡ください。

　　　　　２）　競技会当日は、起床時に検温を必ず行ってください。

　　　　　３）　休憩・昼食場所での密集を避け、互いの肩が触れ合わないように気を付けてください。

　　　　　４）　大会従事中に体調が悪くなった場合は、速やかに審判長に申し出てください。また、帰宅後の体調について連盟事務所にご報告ください。

５．施設利用について

　　　　　１）　施設側の予防対策を順守する。

　　　　　２）　選手の時間差入場・選手導線等、密になる状況を避ける対策をとる。

　　　　　３）　障がい者や高齢者・持病のある方など、入場者の特性に配慮して対応する。

　　　　　４）　マスクの着用・大声での会話・対面姿勢での会話などについて注意する。

　　　　　５）　必要に応じて非接触体温計を使用して発熱者を特定し、入場を制限する。

　　　　　６）　トイレの蓋を閉めてから汚物を流すようにする。

　　　　　７）　施設内で複数の入場者が触れると考えられる場所（ドアノブ・ロッカーの取っ手・テーブル・

　　　　　　　　椅子等）については、こまめに消毒する。

　　　　　８）　換気扇を常に回す。出入口のドアは開放する。換気用の窓を開ける。等、換気に配慮する。

　　　　　９）　入場口・更衣室・招集所及び各部屋にアルコール等の手指消毒用薬を用意する。

　　　　１０）　招集所でもマスクを着用させるが、招集所からプールに向かう時はマスクを外して服内のポケットか自身の袋に入れさせる。（マスクは、選手椅子・脱衣かごに直接置かない。

　　　　１１）　競技役員の指示は、必要最低限とする。

６．ウォームアップ・ダウンでの対応

　　　　　１）　各レーン内で待機する場合・スタート練習で並ぶ場合は、互いの肩が触れ合うような接近はしない、会話をしない等の指示をする。

　　　　　２）　決勝競技開始前のウォームアップでは、決勝進出者の使用に限定するなどの対策をとる。

　　　　　３）　選手に対して、泳ぐとき以外のマスク着用を周知する。

　　　　　４）　唾や痰を吐くことは、いかなる場所であっても行わない。

　　　　　５）　コーチの大声での指導、コーチ同士の対面会話を控えるよう周知する。

　　　　　６）　笛の使用は、禁止とする。

７．ゴミの廃棄

　　　　　１）　鼻水・唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスク・手袋を着用する。

　　　　　２）　マスク・手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする。

８．飲食について

　　　　　１）　指定された場所において個別に摂取する。やむを得ない場合は、十分な距離を取り対面しないように摂取する。

　　　　　２）　食事中の会話は、控える。

９．その他

　　　　　１）　競技終了後、団体全体で退場するのではなく、自分のレース終了後に個々に退場する。

　　　　　２）　ミーティングを行う場合は、互いとの距離が十分とれる場所でマスクを着用して行う。

　　　　　３）　競技役員交代時に、トランシーバー・半自動グリップ・ストップウォッチ・マイクなどの消毒を行う。

　　　　　４）　順守されているか定期的に巡回・確認をする。